

健康教育

1 平成29年度 主要な事業

(1) 学校保健・安全

① 保健管理

定期健康診断及び事後措置を適正に実施することにより、疾病の早期発見早期治療に努め、健康の保持増進を図るとともに、健康意識の向上と行動の実践化をめざす。

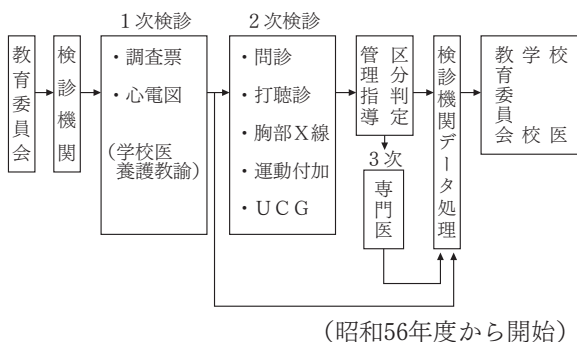
ア 検診・検査項目

番号	学年 検診・検査項目	小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
1	内科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	眼科検診	○	←アンケートにより抽出→	○	← ” →	○	← ” →	○	← ” →	○
3	耳鼻咽喉科検診	〃	←アンケートにより抽出→	○	← ” →	○	← ” →	○	〃	〃
4	歯科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	心臓検診	○	←経過観察者のみ→				○	← ” →	○	← ” →
6	腎臓検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	すこやか検診					○				
8	結核検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	視力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	聴力検査	○	○	○		○		○		○
11	身体測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○

イ 検査システム・検査内容

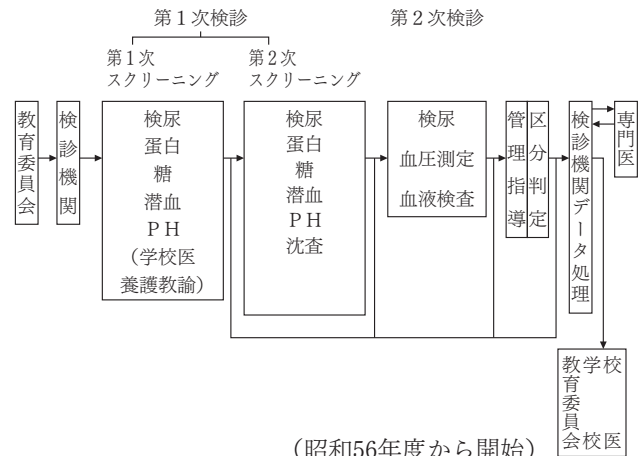
心臓検診

- 対象者 小学校1年生・中学校1年生・経過観察者
- システム



腎臓検診

- 対象者 幼稚園及び小中学校全学年
- システム



すこやか検診

- 対象者 小学校5年生
- 検査内容

肥満度 総コレステロール HDLコレステロール 中性脂肪 動脈硬化指数 GPT 赤血球数 ヘモグロビン ヘマトクリット (MCV MCM MCHC) 白血球数 血小板数

② 健康・安全教育の充実

学校教育活動全体を通し、健康教育の一環としての健康・安全教育の充実に努める。

ア 望ましい生活習慣づくりのための指導の充実
家庭との連携の下、健やかな体と豊かな心を育むための望ましい生活習慣の形成をめざした指導の充実に努める。

小学校5年を対象に、生活習慣病予防のための血液検査を実施し、その後の保健指導に役立てるとともに、生活習慣の改善を図る必要がある児童とその保護者を対象にすこやか教室を開催する。

イ 歯と口の健康づくりの充実

歯みがき指導、食に関する指導、フッ化物活用(洗口)を三本柱として、児童生徒の歯と口の健康づくりを推進します。

ウ 性に関する指導の充実

生命尊重、人間尊重、男女敬愛の精神に基づき、家庭、地域社会の理解のもと、児童生徒の発達の段階を踏まえた性に関する指導の充実に努める。

エ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育

学校医・学校薬剤師並びに関係機関と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催し、児童生徒

の発達段階に応じた喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実を図る。

オ 保健指導の充実

「感染症情報収集システム」を活用し、感染症の予防ならびに感染拡大防止に努めるとともに、日常の健康観察の充実を図ることにより、児童生徒の心身の状況を把握し、必要に応じ児童生徒、保護者に対し適切な指導助言を行う。

カ 健康相談の充実

保健室機能を活用し、地域の医療機関その他の専門機関等と連携することにより、多様化する心身の健康問題に対処するとともに、個に応じた健康相談の充実に努める。

キ 保健安全教育の充実

学校における保健安全教育ならびに管理体制の充実を図るため、管理職並びに学校保健安全担当者対象に「学校保健安全研修会」を開催する。

3年間で、全教職員を対象に、「学校危機管理研修会」(AEDを含む普通救命講習)を実施し、学校における更なる危機管理体制の充実を図る。

③ 学校保健の向上と推進

ア 学校保健委員会

「学校保健委員会マニュアル」を活用し、学校、保護者、学校医等が連携し、地域や学校の実態に即した児童生徒の健康づくりを図るための学校保健委員会の充実に努めている。

イ 学校保健小委員会

地域保健委員会の中の一委員会として設置され、各専門分野の協力を得ながら、児童生徒の健康診断結果から学校保健の諸課題及び健康教育等について検討協議し、学校保健の推進を図っている。

ウ 大分市学校保健会

大分市内の公立学校、高校、特別支援学校と学校医等関係機関との連携をとりながら、学校保健の向上と推進を図る。

さまざまな観点から、子どもの健康問題等についての研修会や講演会を開催し、学校保健の現状と課題について共通理解を図り、会報誌発行等活発な活動が展開されている。

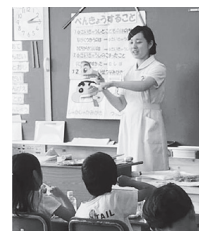
エ 大分市学校保健検討委員会

児童生徒等の健康課題に適切かつ効果的に対応するため、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた対応や事務手続きの統一化などを行うことを目的に設置した。

平成28年度は「大分市立学校歯と口の健康づくりの手引」作成及び「大分市立学校内科検診(結核検診・脊柱・運動器検診を含めた)の手引」の改正を行い学校保健の充実に努めている。



すこやか教室の様子



歯と口の健康づくり事業

④ 資料

ア 平成28年度 児童生徒体位比較表

大分市教育委員会

学 年		小 学 校						中 学 校			
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	
身長 cm	男	市	115.8	122.8	127.9	133.2	138.5	144.7	151.9	159.3	165.1
		県	116.5	121.3	127.5	132.6	138.2	144.9	152.5	159.5	164.6
		全国	116.5	122.5	128.1	133.6	138.8	145.2	152.7	159.9	165.2
	女	市	115.3	120.9	127.0	134.9	139.9	146.6	151.6	154.4	155.9
		県	114.8	121.3	126.6	133.5	139.6	146.8	151.2	154.3	156.5
		全国	115.6	121.5	127.2	133.4	140.2	146.8	151.9	154.8	156.5
体重 kg	男	市	21.1	24.0	27.0	30.2	33.8	37.6	43.5	48.4	54.0
		県	21.4	23.4	27.1	29.6	34.3	38.8	44.7	49.0	54.0
		全国	21.4	24.0	27.2	30.6	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9
	女	市	20.8	23.2	26.4	30.2	34.2	39.1	43.9	47.3	50.2
		県	20.6	23.6	26.5	30.4	34.0	39.5	44.0	47.8	50.7
		全国	20.9	23.5	26.4	29.8	34.0	39.0	43.7	47.2	50.0

平成28年度大分市学校保健統計より。県及び全国は、文部科学省平成28年度学校保健統計調査速報より

健康教育

イ 平成28年度 大分市児童生徒疾病状況

(人)

項目		性別		男									女								
		学年		小学校						中学校			小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3		
在籍総数		2,208	2,276	2,307	2,240	2,124	2,237	2,142	2,133	2,172	2,191	2,207	2,110	2,188	2,107	2,053	1,972	1,987	2,151		
受検者数		2,197	2,269	2,301	2,229	2,113	2,215	2,126	2,091	2,109	2,178	2,202	2,100	2,179	2,100	2,045	1,960	1,955	2,099		
栄養 注意	肥満傾向	11	14	21	43	44	56	33	22	32	18	16	21	35	36	27	12	7	19		
	栄養不良	0	2	4	6	5	7	1	2	6	1	1	3	7	4	4	5	6	4		
せき柱異常		79	117	95	122	112	153	64	79	83	96	101	100	116	95	157	90	117	96		
胸郭異常		1	3	2	4	3	0	3	4	5	1	1	0	1	0	1	1	0	0		
四肢の状態の異常		39	26	20	26	38	20	9	14	21	23	23	25	26	20	21	6	15	23		
目	矯正視力測定者	44	59	101	175	249	300	363	419	548	47	74	115	209	303	421	492	628	866		
	裸眼視力	B(1.0未満～0.7以上の者)	339	301	302	274	263	233	267	246	223	363	337	327	308	309	277	247	244	213	
		C(0.7未満～0.3以上の者)	110	168	189	254	263	274	248	276	292	108	203	231	290	333	304	267	247	232	
		D(0.3未満の者)	12	44	88	95	119	118	189	215	235	15	47	97	140	157	157	214	235	283	
	1.0未満の者の計		461	513	579	623	645	625	704	737	750	486	587	655	738	799	738	728	726	728	
	伝染性眼疾患		0	0	0	4	0	0	1	0	0	7	0	0	7	0	0	3	0	0	
	その他の眼疾・異常		124	2	2	137	0	2	91	1	1	98	1	0	131	3	3	59	0	3	
	目の疾患その他計		124	2	2	141	0	2	92	1	1	105	1	0	138	3	3	62	0	3	
伝染性皮膚疾患		0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0		
アトピー性皮膚炎		31	19	22	31	31	41	13	23	24	31	33	23	28	21	21	22	24	28		
心臓疾患		21	7	10	7	9	8	47	9	5	18	17	10	4	9	3	33	12	12		
腎臓疾患		10	11	11	19	4	9	10	22	10	16	10	11	20	21	25	23	10	17		
ぜんそく		32	46	51	35	42	49	43	62	48	24	29	21	20	25	34	41	31	38		
寄生虫卵保有者		23	11	16	/	/	/	/	/	/	14	7	7	/	/	/	/	/	/		
その他の疾患・異常		94	84	94	93	86	108	113	116	87	80	89	67	72	77	84	119	77	95		
歯	受検者数	2,178	2,264	2,272	2,201	2,080	2,196	2,085	2,045	2,046	2,181	2,188	2,079	2,166	2,071	2,027	1,930	1,925	2,065		
	う歯	処置完了者	529	575	703	686	650	545	486	500	471	483	557	640	660	625	487	467	471	554	
		未処置のある者	618	760	825	835	622	629	435	447	504	622	743	651	800	549	557	423	365	522	
		計	1,147	1,335	1,528	1,521	1,272	1,174	921	947	975	1,105	1,300	1,291	1,460	1,174	1,044	890	836	1,076	
	歯列・咬合・顎関節異常		79	101	144	115	115	107	68	109	97	84	128	127	114	118	123	90	130	99	
	歯肉炎・歯周炎		28	61	65	75	63	70	64	108	149	15	45	50	60	60	51	54	77	112	
要観察歯(C ₀)のある者		260	312	385	314	385	367	405	438	458	294	316	420	373	413	352	395	424	471		
結核 検診	精密検査受診者	6	3	4	2	1	2	0	0	0	4	5	3	2	1	1	0	0	1		
	疾病及び異常のある者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

平成28年度 大分市学校保健統計より

(2) 学校給食

大分市では、「学校給食法」に基づき、食育の推進を図るとともに、小学校は単独校調理場方式、中学校は共同調理場方式を基本に、「安心、安全、あたたかい」学校給食の提供に努めている。

① 食育の推進

ア 食に関する指導

学校における食育の推進を図るため、家庭及び地域社会との連携のもと、健康教育の一環としての食に関する指導を充実し、生涯を通して健全な食生活を実践しようとする資質や能力の育成に努めている。

イ 地産地消事業

関係機関と連携した地元産食材の「年間利用計画」を作成し、「学校給食地産地消推進会議」を開催する中で、毎月19日の「食育の日」前後を「おおいた産給（サンキュー）の日」と定め、市内産食材を使用した学校給食を実施している。

ウ 元気いっぱい！おおいたっ子食育推進事業

学校における「食育」の一環として、「元気いっぱい！おおいたっ子食育標語」を募集することで、子どもたちの食に関する意識・関心を高めるとともに、啓発用リーフレット等を作成・配付し、学校・家庭・地域において「早寝、早起き、朝ごはん」の取組が積極的に行われるよう呼びかけている。

② 施設・設備の整備・充実

平成20年9月に稼動した東部共同調理場と平成22年9月に稼動した西部共同調理場では、HACCPの考え方にに基づく衛生管理システムを導入し、市内の小中学校32校に学校給食を配送している。

その他の給食施設は、老朽化や耐震補強などの校舎の施設整備計画等を考慮するなかで、計画的な施設の整備を推進している。

なお、学校給食に関する施設の現状は、下記のとおりである。

ア 単独校

現在、単独校方式による給食は、小学校50校で実施している。

なお、平成29年度より小学校3校にて調理業務を委託している。

イ 共同調理場

共同調理場名	場 所	連絡先	設置日
東部	大字海原916-3	521-7832	H20.9.1
西部	大字光吉467-12	568-0555	H22.9.1

現在、東部・西部共同調理場で、小学校5

校、中学校26校、義務教育学校1校の給食を実施している。

ウ ドライシステム

(ア) 単独校

- 小佐井小学校（平成11年2月）
- 下郡小学校（平成13年4月）
- 大在西小学校（平成17年4月）
- 大道小学校（平成24年1月）
- 坂ノ市小学校（平成24年1月）
- 南大分小学校（平成25年1月）
- 春日町小学校（平成26年1月）
- 鶴崎小学校（平成27年4月）

(イ) 共同調理場

- 東部共同調理場（平成20年9月）
- 西部共同調理場（平成22年9月）

エ 食器等

アルマイト食器を使用していたが、平成13年度に強化磁器食器を1校（新設小学校）に導入した。

さらに、平成16年度からは小学校に順次、強化磁器食器を導入している。

東部・西部共同調理場の関係校32校も、強化磁器食器を使用している。

オ その他

単独校調理場では、昭和55年5月から石けん洗剤を使用している。

③ 学校給食の充実

ア 学校給食実施状況（平成29年5月1日現在）

区分	調理方式	学校数	児童生徒数	栄養教諭	学校栄養職員	給食調理員
小学校	単独校調理場方式	50	25,341	6	21	184
	共同調理場方式	5	420			
	その他	1	10			
中学校	共同調理場方式	26	11,832	2	4	
	その他	2	20			
義務教育学校	共同調理場方式	1	1,026	1		
合 計		85	38,649	9	25	184

※東部・西部共同調理場及び小学校単独調理場方式50校のうち3校は、調理業務を委託しているため、調理員数には含めていない。

イ 学校給食の形態

(ア) 学校給食の開始

小学校では昭和23年から、中学校では昭和38年から、完全給食を実施している。

(イ) 米飯給食

食事内容の多様化を目的に、米飯給食を導入している。

昭和53年9月から 週1回実施

昭和56年10月から 週2回実施

昭和63年12月から 週3回実施

(ウ) 現状

週5日 完全給食（米飯3回、パン2回）

(エ) 平成29年度学校給食費（月額平均）

区分	金額(円)
小学校	4,650
中学校	4,800

ウ 学校給食食物アレルギーへの対応

東部・西部共同調理場の関係校を対象に、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づく「代替食」による食物アレルギー対応給食の提供を行っており、対応給食を希望する児童生徒には、専用の容器等で配送している。

また、単独校調理場の小学校についても、平成26年1月に「食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、原則として「除去食」による対応給食の提供を行っており、対象児童は専用の容器やトレイ等を使用している。

エ 献立作成

「学校給食実施基準」に定める「児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準」に基づき、献立作成を行っている。

栄養教諭・学校栄養職員未配置校では、市教育委員会の栄養士が献立を立案し、献立委員会で審議、承認された後、各校に配布している。

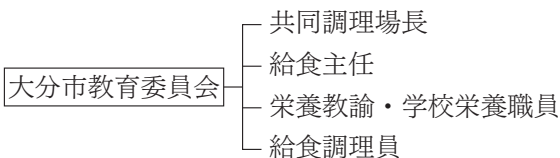
栄養教諭・学校栄養職員配置校では、学校ごとに創意工夫して、献立を作成している。

各校では実情に応じ、限られた予算や子どもたちの嗜好・食事摂取基準・食材の安全性・季節・伝統料理等を考慮し、各校独自の献立を実施している。

さらに、地域の食文化に接するため、だんご汁やとりめし、やせうま等の郷土料理を献立に取り入れたり、にら、みつば、ごぼう等の地域の食材を取り入れるなど、地産地消に努め、地域性豊かな給食を実施している。

オ 献立委員会

(ア) 組織



(イ) 内容

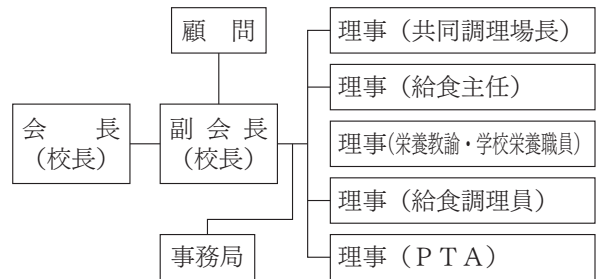
市教育委員会で立案した献立について、指導の徹底、作り方、内容の検討を行い、実施

献立の反省をもとに給食指導の充実を図っている。

カ 大分市学校給食研究会

校長、共同調理場長、給食主任、栄養教諭・学校栄養職員、給食調理員、PTAのそれぞれの代表者で構成する研究団体である。

○ 組織



7月に総会を開催し、年間事業計画等の審議や給食指導などの実践発表を行っている。

キ 学校給食ポスター展

学校給食週間の事業として、昭和44年から児童生徒の「学校給食ポスター展」を行っている。

平成28年度出展数は388点、来場者は4日間で1,500名以上であった。

ク 学校給食試食会

児童生徒の保護者を対象に学校給食試食会を開催し、学校給食への理解を図るとともに、学校と家庭との連携を深めることを目的として、各学校毎に実施している。



平成28年度学校給食ポスター展会場風景